

**本年度の進行状況
(平成22年度)**

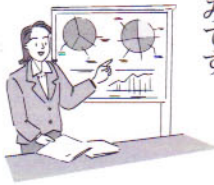
本年度は、中間処理施設及び最終処分場の本体建設工事と準備工事発注、工事に必要な許認可の申請が中心となります。(本年度発注した工事や業務の入札状況・発注予定については、組合ホームページで公開しています)

関係法令の手続きに関しては、本年7月までに生活環境影響調査縦覧、施設位置の都市計画決定を終え、実施設計が終了してから、建築確認申請、一般廃棄物処理施設設置届を予定しています。

施設整備工事については、中間処理施設建設工事(8月)、建設地立木伐採工事(9月)、敷地整地工事(10月)の発注を完了し、年明けに予定している最終処分場建設工事の発注により、主な工事の発注が完了する見込みです。

新しい広域ごみ処理施設の完成時期

平成23年4月以降については、本体工事に本格的に着手し、平成24年12月末まで工事や試運転などを行います。



現時点での予定としては平成25年1月から新しい広域ごみ処理施設が稼働することになり、現在の市廃棄物埋立処分場は閉鎖しますが、資源ごみを処理している紋別リサイクルセンターについては、広域ごみ処理施設と並行して今まで通り運営します。



将来的にも紋別リサイクルセンターでの資源ごみ処理は続きます



できるだけ燃やさない・埋めないためにも資源ごみの分別は今までと同じく大切になっていきます

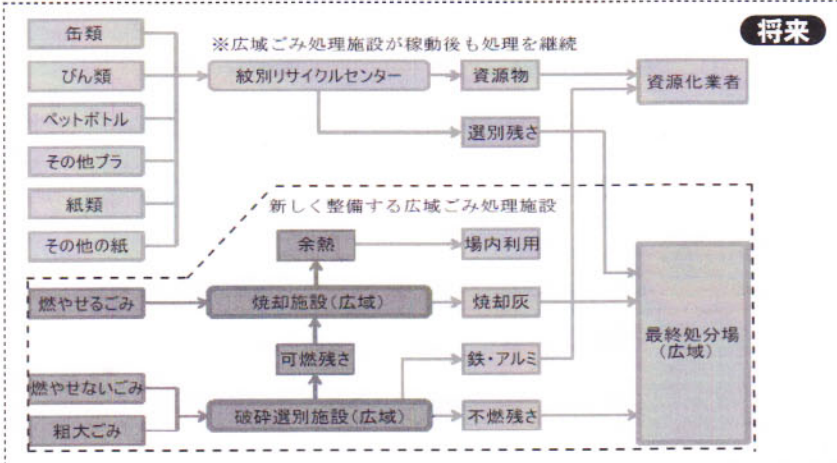
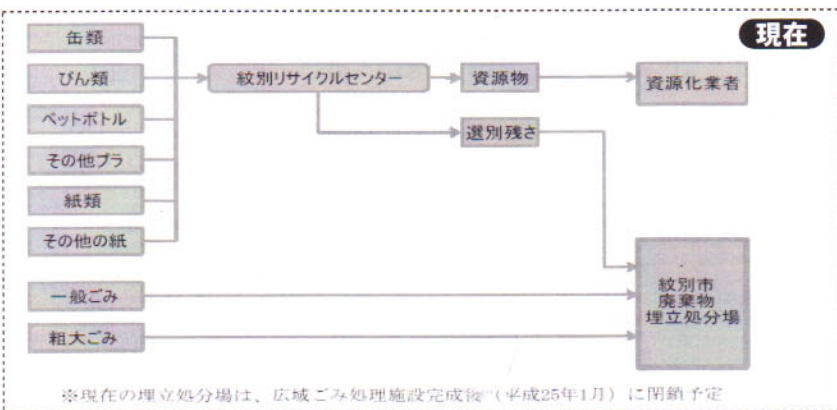
【現在と将来のごみ処理方法】

現在の「ごみ処理方法」

現在の分別としては、「資源ごみ」・「一般ごみ」・「粗大ごみ」の3つに大きく区分されます。「資源ごみ」は紋別リサイクルセンターで選別・資源化され、「一般ごみ」・「粗大ごみ」については、特に処理されることなく直接埋め立てられます。

将来のごみ処理方法

将来(平成25年1月以降)の分別は、現在の「一般ごみ」が「燃



やせるごみ」と「燃やせないごみ」の2つの区分に変更となりますが、「資源ごみ」・「粗大ごみ」・「危険ごみ」の分別については変わりません。いままで「資源ごみ」・「危険ごみ」以外は、何も処理することなく直接埋め立てられていましたが、「燃やせるごみ」は焼却、「燃やせないごみ」・「粗大ごみ」は破碎され、余熱や金属を回収リサイクルし、残った焼却灰や破碎物が最終処分されます。

ごみ処理の現状と減量化の取組み

平成21年度のごみ処理状況

一般廃棄物全体量（一般ごみ・資源ごみ・粗大ごみの合計）は9千969トンで、その内、紋別リサイクルセンターで資源化された量は、2千325トンで、平成20年度と比較してほぼ同水準で推移しています。

		平成21年度	平成20年度	平成11年度
一般ごみ	家庭からの排出量	4,922トン	4,998トン	9,911トン
	事業所からの排出量	2,364トン	2,278トン	3,659トン
資源ごみ		2,325トン	2,325トン	297トン
粗大ごみ		358トン	342トン	323トン
合計		9,969トン	9,943トン	14,190トン
リサイクル率		23.3%	23.4%	2.1%
一人一日あたりのごみ排出量		1,088グラム	1,071グラム	1,356グラム
住民基本台帳人口(12月末)		25,105人	25,429人	28,660人

※住民基本台帳人口は、各年度12月末時点
 ※平成11年度は現在と収集や受入体制が異なります。

全国平均との比較

市の「リサイクル率」や「一人一日あたりのごみ排出量」を全国

平均と比較してみると、リサイクル率は高いものの、ごみ排出量が多い傾向にあります。全国的には、リサイクル率は上向き傾向、ごみ排出量は減少傾向

平成12年度からの資源ごみ分別平成15年度のごみ搬入ルール変更など市民のみなさんのご理解とご協力により、平成11年度と比較すると格段にごみ減量化が進んでいると言えます。

にあることから、リデュース・リユース（ごみを出さず、繰り返し使う）、リサイクル（資源ごみの分別）といった3Rの取り組みを徹底していく必要があります。市総合計画の目標値は、現状と比較すると大きな目標に見えますが、リサイクル率では大きな都市でも達成されていることから、ごみ減量化の工夫の余地がまだまだあるとも言えます。

	紋別市	全国平均	市総合計画目標
リサイクル率	23.4%	20.2%	28.0%
一人一日あたりのごみ排出量	1,071グラム	1,033グラム	900グラム

※全国平均の最新公表データ平成20年度であるため、紋別市データも同年度のものとなりました。



広域ごみ処理施設稼働に向けて

今までの市のごみ処理は、焼却などを行わずに直接埋立（最終処分）をしていました。この方法は最も経費がかからない一方、環境に与える影響が大きく、現在では全国的にも数少ない方法となっています。

今まで以上にごみ処理にかかる費用が増大しますが、ごみを出さずに出さない意識と工夫が今より一層高まれば、ごみ処理費の削減になり、市の財政負担を軽減することができ、さらに地球環境を良くすることにつながっていきます。

ごみ減量化のお願い

新しい広域ごみ処理施設でのごみ処理開始にあたり、新しい分別方法の周知に努めますが今まで以上のごみ減量化への取組みに市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。



環境生活課廃棄物対策係
 ☎(24) 2111 内線278番